

NPO法人

志免地域支え合い互助基金

2019年度 会報誌

2020.6.1 発行

Vol. 2


2019年度 会報誌

理事長ごあいさつ 2
理事・推薦人紹介

活動のご紹介 3

2019年度活動 4
報告

2020年度運営 11
について



ほっとけない思いで
活動する互助団体を
支援する仕組み作りを

理事長 ごあいさつ「互助活動 一步一步 歩んで来ました！」



NPO法人 志免地域支え合い互助基金
理事長 下稲葉 康之
(社会医療法人栄光会 会長・名誉ホスピス長)

「コロナ旋風」 「新型コロナ・ウイルス」旋風が吹き始めたのは、今年の2月。その旋風は瞬間に猛烈な勢いで全世界を席卷してしまいました。万全の防御体制を築きあげた筈の世界の強国がもろくも崩れ、幾十万という人が倒れ、社会・経済は甚大な被害を受け、壊滅状態となってしまいました。立ち上がり・立ち直るには、かなりの歳月と物心両面の絶えざる忍耐と努力が必要とされましよう。私たちは、このような困難な課題が山積する2020年度に踏み入っています。

「NPO法人志免地域支え合い互助基金」は、設立されて程なく2年。

まだ誕生して2歳の幼児です。それこそ、まだまだ不格好な歩みですが、しかし、これまで頑張っ

歩いて来ました。時には、倒れそうになったり、しゃがみ込んでしまう時もありました。ところが、そのように一途に頑張っている私たちの姿を目にした方々が、一人二人と私たちの隊列に加わって下さり、いつしか肩を組んで一緒に歩いて下さるようになりました。とても、有難く、嬉しいことでした。

これからは2歳児として、更なる成長を目指し

て励みます。私たち法人の目標は、「互いに助け合う」スピリットに満ちた地域づくりです。「千里の道も一歩から」を糧に励んで参ります。また、この「互助活動」は皆様からの温かい「志」なしには成り立ちません。どうぞ、この働きのパートナーとなって下さい。そして、「ご寄付」に協力くださり、「賛助会員」となって力をお貸しください。これからも皆様のご支援を心よりお願い致します。

今後、この活動がこの地域全体に定着し、持続的な貢献ができるようにと念じつつ励んで参ります。

理事紹介



副理事長 宮本 陽子
(福岡県民生委員・児童委員協議会 理事)

2019年度、未来を担う子供達と高齢者見守りの事業に支援することができました。まだまだほんの一部に過ぎませんが、先の見通しがたたない2020年度、助け合いの精神で乗り越えて行きたいと思えます。

このNPOの存在を、もっと知ってもらうための活動に努めて参ります。



理事 渡邊 明
(志免町老人クラブ連合会 会計)

人口構成の変化、人口減少等により、社会の仕組みを変える必要に迫られている昨今、ますます住民力の必要性を感じます。

私たち元氣なシニアが汗をかき、お金を持ちより、智慧を出して、『お互い様』の精神で繋がる社会を、力を合わせて共に創りましょう。



監事 藤 慎一郎
(別府1町内会 会長)

人の痛みがわかる.. ということは ということなのか..自分が経験したことについては理解できますが、それ以上のことはなかなかわからないことが多いものです。

幸い身近なところで、支え合い精神のNPO法人が設立され、自分自身の学びの場と思って参加をさせていただいております。

推薦人紹介

～私たちの活動趣旨に賛同し応援して下さる方々です～

九州大学 総長	久保 千春 先生
株式会社 西日本新聞社 編集局総務	田川 大介 氏
株式会社 西日本シティ銀行 頭取	谷川 浩道 氏
粕屋医師会 会長	松尾 喬之 先生
志免町社会福祉協議会 前会長	森内 平 氏
志免町老人クラブ連合会 前会長	山田 喜一郎 氏

(芳名五十音順)

設立趣意

今、求められる地域支え合いのためのNPO法人です

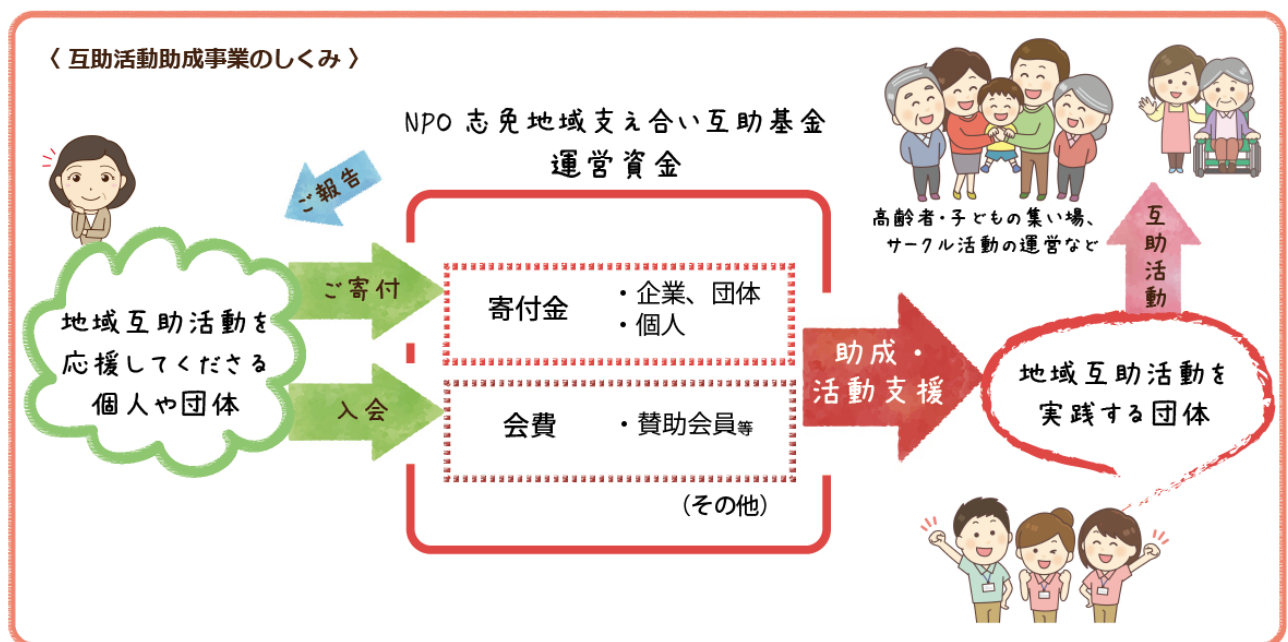
事業目的

迫る「2025年問題」への対応、地域包括ケアシステムを実現し、高齢者や生活困窮者の方々を支えるためには、地域社会における「互助」の仕組みが必要不可欠です。

「地域で困窮する方々を『ほっとけない』想いで活動している互助団体」を支援する仕組みを確立し、住み慣れた場所で最後まで安心して過ごせる町づくりに貢献することを目的に活動しています。

事業概要

1. 互助活動助成事業：地域で互助活動をおこなっている団体へ助成をおこない、互助活動の推進・継続を支援します
2. 広報啓発事業：私たちの活動を広く知って頂きご支援いただくために機関誌の発行やセミナー活動など、さまざまな広報活動を行います
3. 互助活動コーディネイト事業：私たちの活動が橋渡し役となり、互助活動に携わる人と人、活動と活動をつなぎ、支援の輪が広がることを目指します



法人概要

名称 特定非営利活動法人 志免地域支え合い互助基金
設立年月日 平成30年6月8日
理事長 下稲葉 康之
URL <https://shimekikin.jimdofree.com/>
住所 〒811-2205 福岡県糟屋郡志免町別府2-2-1 医療介護施設かめやま内
TEL 092(692)1512
メールアドレス shimekikin@gmail.com

《団体紹介》 **福岡志免ボーイズ**

福岡志免ボーイズは、1976年(昭和51年)4月に志免ライオンズとして誕生し、全国で39支部、小・中学生の部を併せ、741チームが加盟する「公益財団法人日本少年野球連盟」福岡県南支部に所属している少年硬式野球チームです。

「野球を通じて次代を担う少年の健全育成を図る」という目的のもと、指導者は、「すべてにおいて基本の徹底」を指導の柱に据え、野球ができる素晴らしさや感謝の気持ちを持ち、社会の役に立てる人間を育てることに重点を置き、親身になって指導することをモットーにしています。

2019年は、72名が在籍し、切磋琢磨のなか春と夏に全国大会に出場するという偉業を果たされました。

これは、選手・保護者、そして指導者が、指導の柱をしっかりと共有されている証であると共に、伝統及び周囲の皆さまの理解と協力の賜物であると思います。

長きに渡り、多くの方に支えられ続けている福岡志免ボーイズさんの活動が、この先も永く続くことを心より祈念いたします。

《助成理由》

以下の様な理由により、当チームが夏の全国大会に出場された際に助成をさせて頂きました。

- 福岡志免ボーイズが所属をしている「公益財団法人日本少年野球連盟」の目的が、「野球を通じて次代を担う少年の健全育成を図る」であり、当チームの指導の柱が「すべてにおいて基本の徹底」であり「野球ができる素晴らしさや感謝の気持ちを持てる人として親身になって育てる」ことに真摯に取り組んでいる。

この指導方針は、支え合うことの大切さを理解し、実践ができる人や町づくりを目指す当法人の考え方と同じ方向であると理解したため。

《助成金額》

100,000円



2

しめキッズクラブ

《団体紹介》 しめキッズクラブ

志免キッズクラブは、小学生未満の子ども達を対象に、2018年7月に、志免中央小学校を活動拠点として誕生した運動クラブチームです。

小学校教諭として勤めていた代表の寺田廣美さんは、志免町で小学生を対象にミニバスケットを教えています。

その練習及び試合会場に保護者の方と一緒に来る弟・妹達のエネルギーを毎回感じつつ、保護者の方々の要望もあり一念発起をされました。

このクラブでは、子ども達の基礎体力、基礎運動能力を養成し、目標に向かって頑張ろうという気持ちを育むことを活動の目的にしています。また、挨拶や素直な返事、マナーなども指導の一環として行いながら、体育活動を通じて成長の手助けをすることも活動の目的としています。

活動日には、マット運動、とび箱、縄跳び、鉄棒、ボール運動、フラフープを使ったリズムダンスやトランポリン、そして最後に整理運動と元気よく挨拶を行ったあと、皆で整理整頓をして終了します。

個性を育みながら集団の規則も教える。まさに縦の糸と横の糸を、寺田さんと保護者が一体となって紡ぎながら、子ども達の健やかな成長を支えているクラブです。

《助成理由》

以下の様な理由により当クラブに助成をさせて頂きました。

- 当クラブの代表と保護者が一体となり、体育活動を通じて、目標に向かって頑張ろうという気持ちを育むことや、挨拶や素直な返事ができ、マナーなども指導の一環として教えているその実践は、支え合うことの大切さを理解し、実践できる人や町づくりを目指す当法人の基礎部分であり、とても大切な取組だと理解したため。

《助成金額》

50,000円



3

別府3町内会
やさしい声かけ訓練

《団体紹介》 別府3町内会 やさしい声かけ訓練

別府3町内会は、志免西小学校区内に位置し、平地から小高い丘を開発して造った住宅街が多くを占める町内会です。住宅開発が行われて40数年。同時期にこの地域に引っ越してきた多くの方々が高齢者になり始めています。

坂が多い土地柄のため、高齢になった住民の皆さんは買い物や通院など移動をするのにひと苦労をされていますが、老人クラブがけん引役となり助け合いや支え合いの意識が高い地域だと言われています。

平成28年度、別府3町内会の老人クラブである平成クラブが主催した「べふ3ルーム」が年間を通じて開催されました。ここでは、これからの時代背景、別府3町内会や校区にある社会資源の把握、会員が困っていること、そしてそれを助ける為に自分に何が出来るか?等について話し合い、最後はアンケート活動を行いました。この活動を仲間同士で行う過程で、更に支え合う心.. 助け合う心が増えてきたそうです。

このアンケートの中に、「もし自分が自分のことや周囲のことがわからなくなった場合..」という不安な気持ちを書かれている方がいらっしゃいました。この不安はどうしたら解消できるか? これからの時代を考えると、この不安を持ちながら生活をする方は増えてくるはず。何をすべきか?..と試行錯誤するなか出した案が「やさしい声かけ訓練」であり、これを多世代の方と継続して行うことだ!と、町内会長の藤田洋子さんは決断されました。

今の時代、互いに笑顔でやさしく声をかけあう..ということはとても難しいことです。訓練をしたからすぐさまやさしく声をかけあう様にはなりません。それ程、人の意識を変えるのは大変です。

しかし、この訓練を始めた別府3町内会の皆さんの互いを慮るハートと行動力に、人生最期まで安心して暮らす事ができる地域の実現という明るい未来を感じます。共にその日を迎える為に頑張りましょう。

《助成理由》

当法人は、この活動が「支え合い」のベースになる活動であると判断しているため助成対象活動に定めていた。別府3町内会は、平成クラブが平成28年に行ったアンケート結果をふまえ、その解決策の1つとしてこの訓練に取り組み、地域支え合いの仕組みづくりを行う決意をされたため。

《助成金額》

20,000円

《訓練の感想》

- ・知らない人に声をかけるには勇気がいった。
- ・日頃から地域の人を知る為に関わっていくことが大事だと思った。
- ・自分のことを伝えるのではなく、相手の人に寄り添う声かけをすると、相手の顔つきはやさしくったり、笑顔になり、心が通っていると感じた。

《課題》

- ・行方不明になった方を探す上での連絡網をどうするか?

町内会 や 小学校区 や 町内 での緊急連絡網が必要だとの意見が出た。この緊急連絡網をどうつくるか?が今後の大きな課題である。



4

みんなの居場所「いこうや」実行委員会

《団体紹介》 みんなの居場所「いこうや」実行委員会

みんなの居場所「いこうや」実行委員会は、志免町内外の住民が2016年に志免町で立ち上げた任意の団体です。松井通代代表を含め、40名の有志がいます。

当委員会は、「食」の提供をこども食堂という機能を通じて行う「こどもの居場所づくり」を行うと共に、乳幼児から子育て世代～高齢者世代までの多世代が共に集い、交流し、世代が違って信頼できる人間関係を構築することを目的に活動をされています。

主な活動内容は、毎月2回「いこうやデイ」と「いこうやナイト」を開催し、子ども達を中心に幅広い年代の人々が集い、同じ食卓を囲み会話し、自由な時間を過ごしたり折り紙・伝承遊び・工作・おはなし会などを通じて交流し、安心して過ごせる心地よい居場所や環境づくりを行っています。2020年度からは「朝ごはんサポート」活動も毎月1回開催する予定です。

しかし今年に入り、新型コロナウイルスの感染が拡大し、密になる状況を避ける事態となり、志免町の小学校もしばらくの間臨時休校になっていました。その中、学童保育に通う子ども達が昼食の弁当持参で通っていることを知り、1日でも保護者の負担を減らし、子ども達が揃って同じ温かいご飯を食べれる日をもってほしいと想い、今回学童保育にカレーライスを配食する活動を決め、志免町にある4小学校全ての学童保育に、374名分を届けるような素晴らしい活動を行っている団体です。

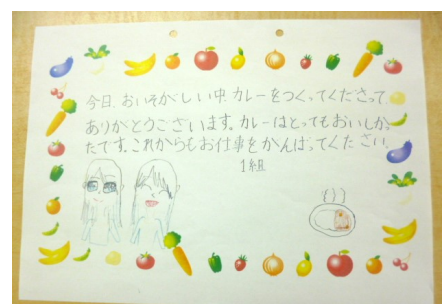
《助成理由》

以下の様な理由により、みんなの居場所「いこうや」実行委員会に助成をさせて頂きました。

- ①日頃より、子ども達～高齢者の世代が集まる居場所をつくり、「食」を通じて行う世代交流の中に、支え合いに資する貴重なコトがあるため。
- ②この日頃からの活動には、支え合うことの大切さを理解し、実践ができる人や町づくりを目指す当法人の考え方と同じ方向であると理解したため。
- ③新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態の時に、支え合いの心からくる愛ある活動だと理解したため。

《助成金額》

100,000円



2) 互助広報啓発事業

1

2019年度は、活動エリアを志免町全域に広げました。従って、当法人の存在を知って頂くための活動を重点的に行ってきました。その主な活動について、ご報告致します。

◆当法人説明会及び活動報告会の実施

2019年8月23日、町民センターを会場に、「法人説明会及び活動報告会」を開催しました。開催に際し、多くの町内会長様に開催情報を回して頂きました。ありがとうございました。当日は、議員さんを始め約60名の方々に参加をして頂き、当法人に期待する事など、ご提案を頂きました。ここでのご提案から、少額助成制度が始まりました。ありがとうございます。

※2020年2月22日に行う予定であった「やさしい声かけ訓練 実施報告会」の広報について、この集会について、町内会長連合会が取り上げて下さり、この場で説明をさせて頂きました。その為、多くの町内会長様のお陰で町民の皆さまに広報ができました。しかしこの集会は、新型コロナウイルスの感染防止の観点より延期になっています。

◆他団体に伺っての法人説明会

多くの団体及び法人のご厚意により、貴重なお時間を頂き、「なぜ支え合いや基金が必要なのか」について説明をさせて頂きました。以下、ご厚意を頂いた団体及び法人を紹介させて頂きます。

- | | | |
|-----------|-------------------|---------------|
| ・美容組合粕屋支部 | ・志免町飲食店組合 | ・別府3町内会 |
| ・東福岡法人会 | ・佐賀銀行志免支店 | ・福岡志免ボーイズ保護者会 |
| ・王子八幡町内会 | ・福岡銀行志免支店 | ・桜丘1自治会 |
| ・サンリヤン町内会 | ・西日本シティ銀行志免支店 | ・桜丘中央老人クラブ |
| ・南里1町内会 | ・エコネットしめ | ・志免キッズクラブ保護者会 |
| ・別府2老人部 | ・西日本シティ銀行朗らか飛翔会.. | 等 |

多くの皆様方に、貴重なお時間を頂きました。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。

◆イベント参加

たくさんの方々のご厚意により、イベントに参加をさせて頂き、2018年度の会報誌を置いて頂いたり、法人の説明をさせて頂く時間を頂きました。以下、ご厚意を頂いた団体を紹介させて頂きます。

- ・志免町老人クラブ連合会
老連大会に参加をさせて頂き、寸劇で法人説明をさせて頂きました。
- ・栄光病院 すこやかライフフェア
毎年おこなっているフェアに於いて、当法人の会報誌を置かせて頂きました。
- ・志免町商工会賀詞交歓会
会のなかで法人紹介をさせて頂く時間を頂きました。
- ・志免町 町内会長連合会
法人の説明及びやさしい声かけ訓練の紹介をさせて頂く時間を頂きました。

◆NPO法人志免地域支え合い互助基金 支援自動販売機による広報活動

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社様のご厚意により、支援自動販売機による広報がはじまりました。

◆その他の活動

- ・西日本新聞様より取り上げて頂きました。
- ・志免町まちづくり支援室へ登録を行いました。

2

支援自動販売機



(有)田中屋
代表 田中清昭さま

私たちが暮らす志免町で
誕生した支え合い互助基金。
出来る限り、
支援をしていきます！



HearSalon NAKAO
代表 中尾浩二さま

田中さんの支援自販機の事を
聴きました。
私にも支援をさせて下さい！
という想いです。



しめ寿司
佐々木ひろしさま



事務局長の下稲葉さんが
一所懸命に頑張っている姿に
感動しました。私に出来る
支援はしたいと思いました。
がんばろう 志免！
尽くそう 基金！



飯田工務店
代表取締役 小山田義人さま

自分が投じる100円が
社会の役に立っているという
実感を持てる心豊かな意識を
もって生きて欲しい！
その願いからこの活動を
支援しています。



進明技興
谷 清昭さま



お話を伺い、
すぐさま支援する事を
決めました。
応援しています！



コカ・コーラ
ボトラーズジャパン(株)
ペンディング博多支店
支店長 稲益一生さま

我がまち志免に誕生した
希望の星を支援したい！
ただただ その一心で
取り組んでいます。
みんなで一緒に支え合いの
文化をつくりましょう！



3) 2019年度 賛助会員・寄付の状況

2019年度

〈ご寄付について〉

(個人) 11名 寄付金 50,000円

(団体) 9団体 寄付金777,000円

〈賛助会員について〉

(個人) 87名 会費 277,000円

(団体) 17名 会費 163,000円

〈支援自動販売機 設置について〉

2019年3月末現在での設置台数

3団体・4台 設置

感謝

多くの皆さまにご協力いただき、心より感謝申し上げます。
2020年度も引き続き、宜しくお願い申し上げます。



< 2020年度 運営について >

以下、2020年度の運営についてご説明をさせていただきます。

1) **スタッフ構成** 2019年度と同じメンバーで運営をする予定です。

2) **助成対象者** 住民票や本拠地が志免町である個人・団体。
及び
助成エリア 志免町全域です。

3) 各目標について

- ①認定NPO法人格の取得を目指しています。
- ②寄付金受入目標額 2,000,000円
- ③賛助会員目標数 130(個人・法人・団体 含め)
- ④支援自動販売機設置目標数 合計 15台
- ⑤その他支援商品創造目標数 3点
- ⑥新聞(広報誌)発刊目標 200部

4) 各事業の目標

・互助活動助成事業

今年度は、年間20,000円からの少額助成 ~ 年間300,000円上限の助成という枠で年間1,500,000円の助成を目標にしています。

活動実績のない団体の方でもご相談ください。

私たちは、その活動内容を重視しています。

・広報啓発事業

- ① 定期広報誌の発行による広報活動。
- ② 支援〇〇協働事業による広報活動。
- ③ SNSを活用した広報活動。
- ④ 新型コロナウイルスによる社会状況の変化をみながら柔軟に対応していく。

・互助活動コーディネイト事業

- ① 「やさしい声かけ訓練」実施サポート。
 - ② 生活支援を行う団体へのサポート。
- 等々、地域支え合い活動を開始する団体に対し、事務局的なサポートや、団体と団体の連携やご紹介等を行う事業です。

NPO法人

志免地域 支え合い互助基金

NPO法人 志免地域支え合い互助基金

〒811-2205

福岡県糟屋郡志免町別府2-2-1
医療介護施設かめやま内

電話 : 092-692-1512

FAX: 092-937-6141

E-mail: shimekikin@gmail.com

Web サイトもご覧ください

<https://shimekikin.jimdofree.com/>

ご寄付のお願い および 賛助会員募集のご案内

皆さまから寄せられるご寄付、賛助会費により
地域の互助活動を支援します！



NPO法人志免地域支え合い互助基金では、
活動を支援するためにご寄付くださる方、また
活動趣旨にご賛同頂ける賛助会員の方を募集しています。

ご寄付

※専用の振込用紙、および賛助会員申込書は
事務局よりお送りいたします。

法人・個人を問わず任意の額で結構でございます。

※寄付金の取扱いについて

- 個人(個人事業主)が寄付された場合
本寄付金は、寄付金控除の対象とはなりません。
- 会社・法人が寄付された場合
法人が他の会社・法人に寄付した場合と同様の取扱いとなります。
一般寄付金として当該会計年度の損金算入限度額の範囲内で
損金処理が可能です。

当法人は、税法上の優遇措置が適応される「認定 NPO 法人」の取得を目指しています。

賛助会員

【入会金・年会費について】

	入会金	年会費
賛助会員 (個人)	0円	3,000円
(団体)	0円	10,000円

【申込方法】

- ①「賛助会員申込書」にご記入の上、事務局まで Faxまたはご郵送にてお届けください。
- ②年会費をお振込ください。

支援自動販売機 及び 設置者紹介 のお願い



左の写真のような
自動販売機を
設置しても良いと
言われる方を
募集しています。
皆さん、どうぞよろしく
お願いします。

ご寄付・会費の振込口座について

トクヒシメチイキササエアイゴジョキキン
口座名義： 特定非営利活動法人志免地域支え合い互助基金

西日本シティ銀行 博多支店【店番 217】(普通) No.3116590
福岡銀行 志免支店【店番 236】(普通) No.1770312
ゆうちょ銀行振替口座 01730-7-147585 (代表者名等なし)

編集後記

2019年度の会報誌を作成するに際し、
志免町で暮らす方、志免町で事業をされて
いる方の町を想う気持ちの深さに触れさせ
て頂いた事を改めて思い出していました。

新型コロナウイルスの感染による緊急事
態宣言が会報誌製作中に出され、2020年
度以降の支え合い活動に新たな視点が
加わったように感じています。

現実とオンラインをミックスしながら、
支え合いのある心豊かな地域づくりの一助に
なりたい！改めてそう決意したところです。

(NPO法人志免地域支え合い互助基金 事務局)